

2018年12月期 決算補足説明資料

2019年2月1日

 伊勢化学工業株式会社

業績のポイント(2017-2018)

(百万円)

	2017	2018	増減	増減%
売上高	14,348	15,615	1,266	+8.8%
営業利益	406	1,580	1,173	+288.3%
当期純利益	109	578	468	+426.2%

ヨウ素及び天然ガス事業

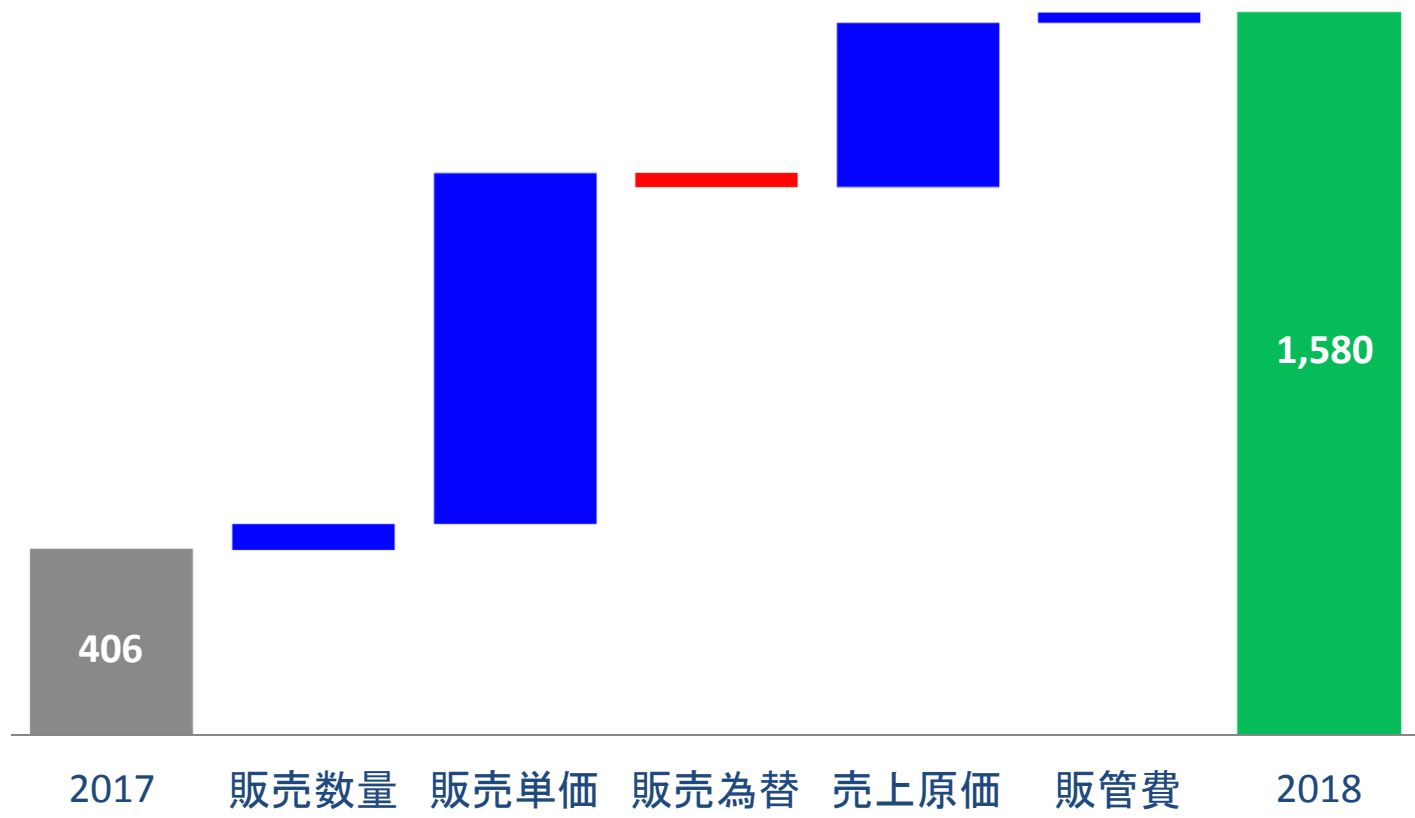
- ・ヨウ素国際市況が回復基調で推移
- ・生産性向上等でコスト低減

金属化合物事業

- ・出荷数量は堅調に推移した中で第4四半期より設備増強の寄与による販売数量の増加
- ・品種構成の影響等により営業利益は減少

営業利益増減要因分析(2017-2018)

営業利益前年対比 1,173百万円



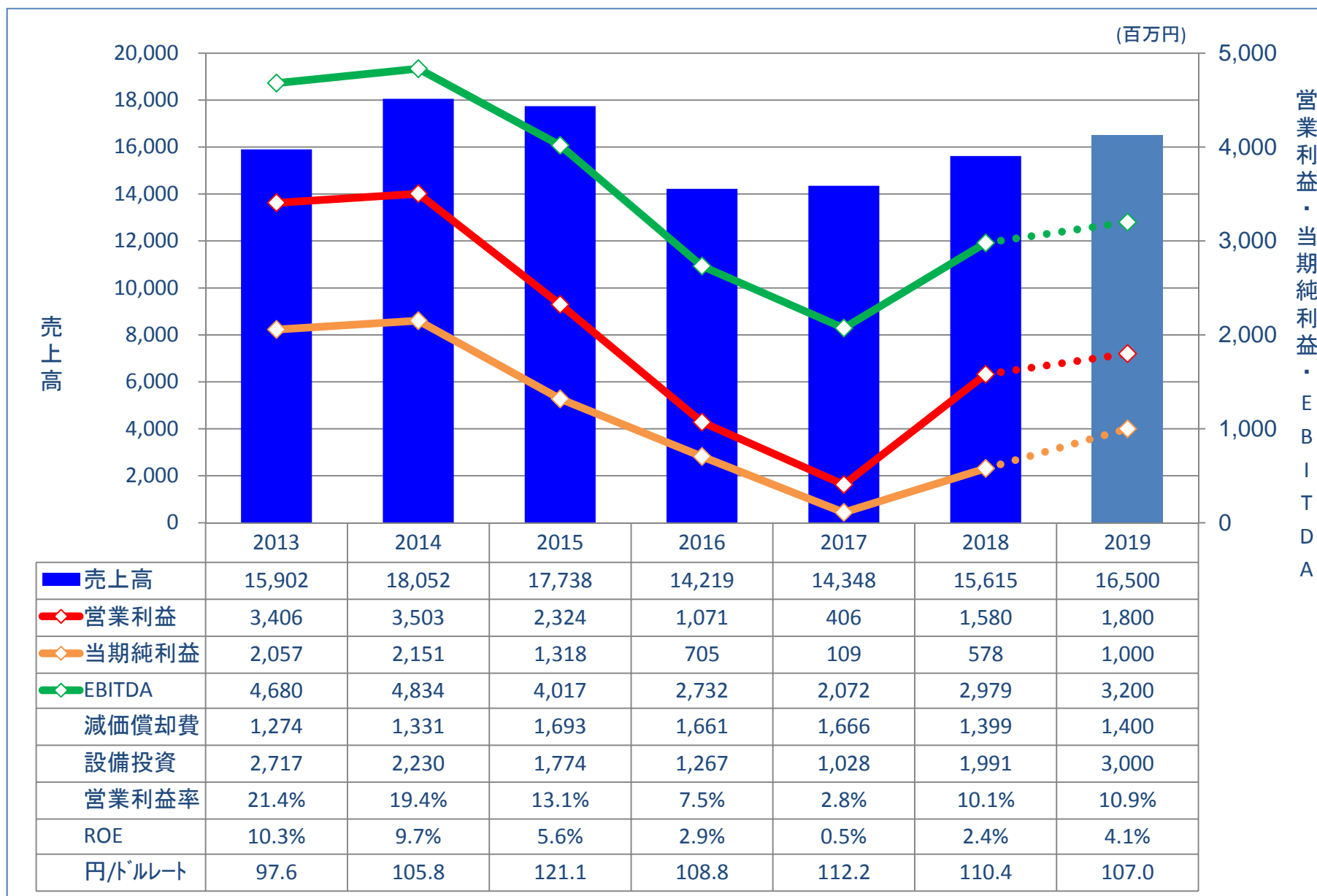
業績のポイント(2018-2019予想)

(百万円)

	2018	2019	増減	増減%
売上高	15,615	16,500	+884	+5.7%
営業利益	1,580	1,800	+219	+13.9%
当期純利益	578	1,000	+421	+72.9%

- 各事業とも需要は堅調
- ヨウ素の国際市況は当面は回復基調
- 販売活動の強化、製造プロセスの効率化等により体制を固めていくと共に、将来を見据えた商品開発を行っていく

業績推移



会社を取り巻く事業環境と課題①

事業環境の変化に応じての安定的な運営と、中長期的な将来に向かったの発展を図れる体制を、より盤石なものにすることが求められます。

これには、製造プロセス技術の向上、お客様視点の商品の創出、お客様から信頼される安定した供給力の確保、等々が必要です。

製造プロセス技術の向上という点では、既存の常識に新たな考え方を加えることで、業績にインパクトを与えて行きます。

お客様視点の商品の創出という点では、お客様の思いを受け止めて創意・工夫に努めることで、これまでとは違った商品を創出します。

お客様から信頼される安定した供給力という点では、設備投資を適切なタイミングで行うことで増加する需要に応じて参ります。

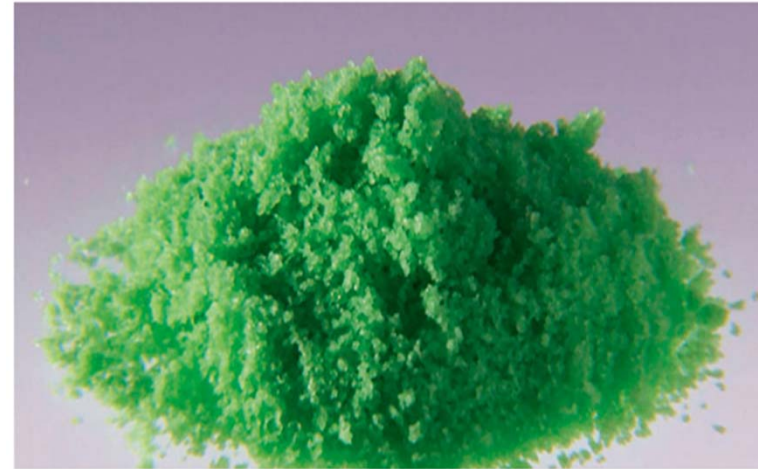
会社を取り巻く事業環境と課題②ヨウ素及び天然ガス事業

ヨウ素・天然ガス事業においては、製造プロセスの効率化に日々取り組み、新たな成果をあげて行きます。また、外部の研究機関の力を活用することで、新しい商品の創出の動きを加速します。かん水・天然ガスの井戸・配管については、国内外での投資を積極的に進め、安定的に供給力を伸ばして行くようにします。



会社を取り巻く事業環境と課題③金属化合物事業

金属化合物事業においては、生産能力をフルに発揮できるように、さまざまな改善を進めます。



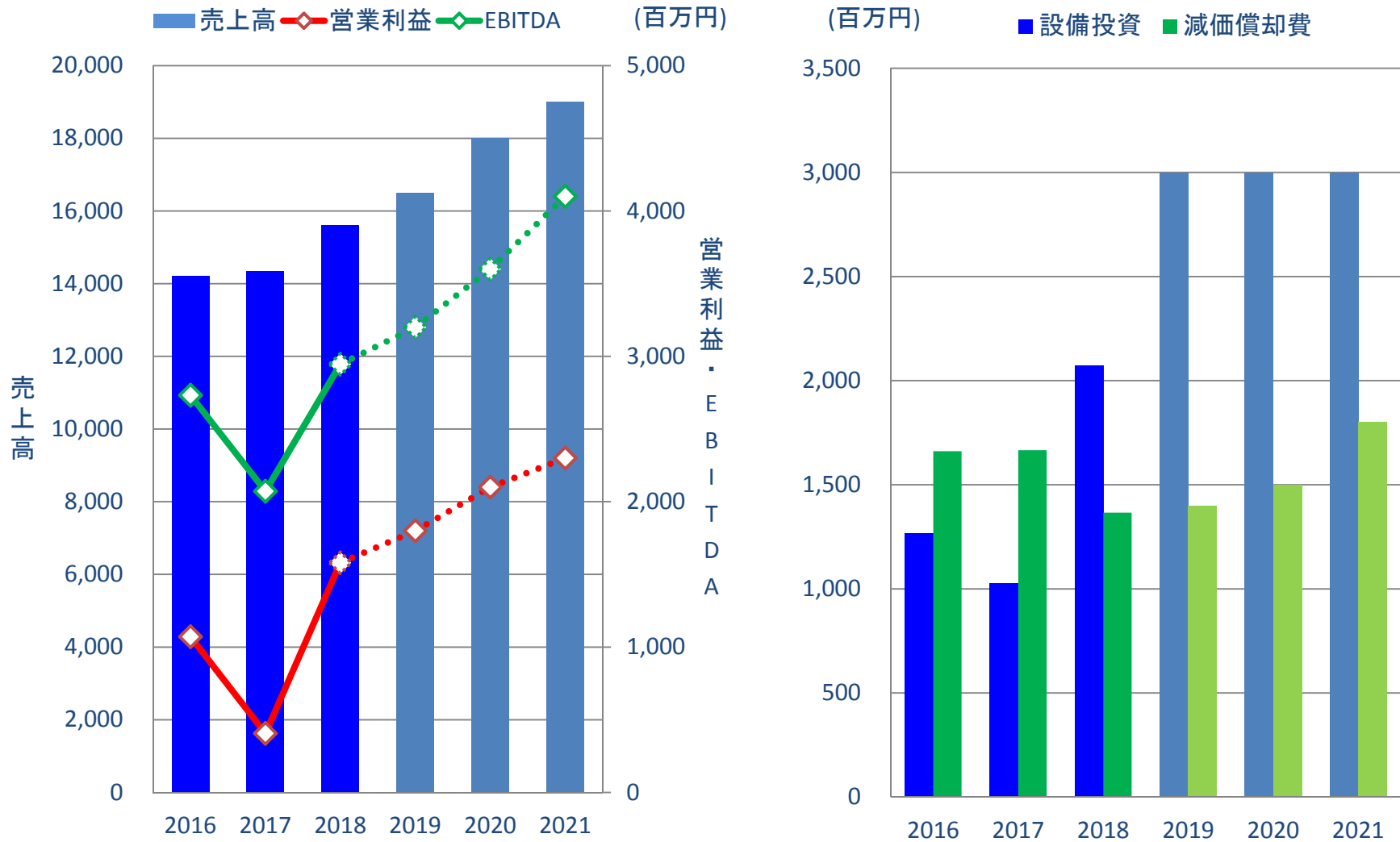
会社を取り巻く事業環境と課題④

ヨウ素・天然ガス事業も金属化合物事業も成長が見込まれており、我々はしっかりとその伸びをとらえて発展して行こうと思います。

そうすることで、「技術力・品質においてNo.1」との評価を確固たるものにする所存です。



これからの3年間(2019年～2021年)の数値イメージ



コンスタントな需要増加に支えられて、事業全体の市場規模は年々拡大して行きます。
このような事業環境を生かし、新規増設、更新等の設備投資に、毎年30億円前後の資金を投じて参ります。合わせて、製品ポートフォリオの最適化、コストの適切な管理を実行します。

これらにより、

これからの3年間の売上高営業利益率は、
10%以上

3年後の2021年のROE(自己資本利益率)は、
6%以上

ご参考:2018年実績
売上高営業利益率:10.1%
ROE:2.4%

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。